### RBSC-SubGenの概要

### 【RBSC-SubGen<sup>4</sup>の入力】

- 全体集合U
- ハイパーパラメータ
  - ▶ 部分集合の大きさ5
  - ▶ 望ましいRBSC係数p\*
  - ▶ 算出される実際のRBSC係数pと望ましいRBSC係数p\*との 許容誤差 $\epsilon$

#### 【RBSC-SubGenにより得られる結果】

- RBSC係数が所望する値p\*に十分近い2つの部分集合を構築 する
- 反復回数が最大反復回数M以下である
- ⇒構築した2つの部分集合とRBSC係数の実測値pを返す.

<sup>&</sup>lt;sup>4</sup>Kohei Furuya et al. "Exploring the limits of an RBSC-based approach in solving the subset selection problem". In: *Proceedings of the International Congress on on Smart Computing and Artificial Intelligence*. Vol. 81. 2022, pp. 1–11. DOI: https://doi.org/10.29007/11311.

# Webアプリケーションのアーキテクチャ

#### 【使用言語及びツール】

- Python 3.11.1
- Streamlit 1.16.0

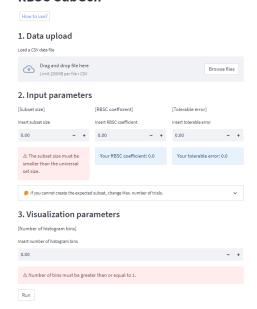


実行サーバ: Streamlit Cloud

処理:所望するRBSC係数 $p^*$ に基づく2つの部分集合を 生成する.

### 作成したWebアプリケーションのオープニングページ

#### **RBSC-SubGen**



入力のステップ

出力

#### 1.Data upload

データセット, 全体集合Uの設定

2. Input parameters

ハイパーパラメータ の取得

3. Visualization parameter

出力されるヒストグラムの ビン数の設定

- 各部分集合の,選択 した特徴の値の分布 を示すヒストグラム
- 生成した部分集合の データフレーム
- 各項目のRBSC係数 の実測値p
- 処理時間

図: 入力のステップと出力



図: データセットのアップロード

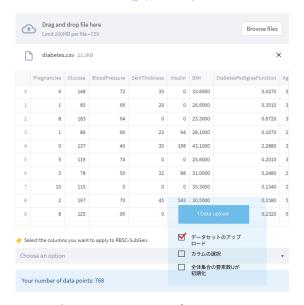


図: データセットのアップロードの完了後

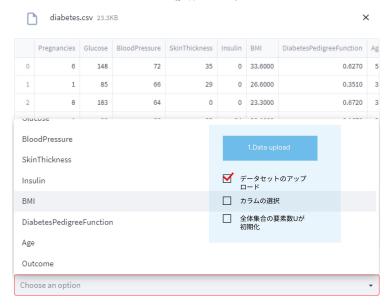


図: カラム選択



図: 全体集合 ሀの初期化

### 2. Input parameters



図: 2. Input Parameters

### 3. Visualization parameters

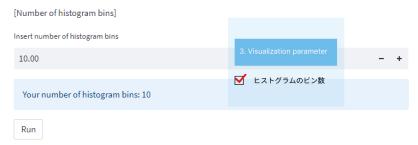


図: 3. Visualization parameter

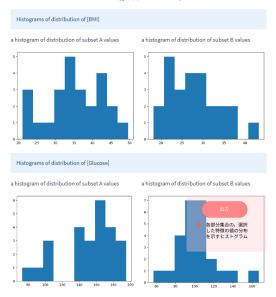


図: 出力されたヒストグラム

#### Subsets dataframe

	Pregnancies	Glucose	BloodPressure	SkinThic
0	7	133	84	
1	7	196	90	
2	5	117	92	
3	7	159	64	
4	1	189	60	
5	0	109	88	
6	0	100	88	
7	1	97	66	
8	0	118	84	
9	10	122	78	

	Pregnancies	Glucose	BloodPressure	SkinTh
0	0	180	66	
1	1	95	66	
2	1	71	48	
3	1	05	66	
4	1		出力 68	
5	2	した物	分集合の,選択。 持徴の値の分布	
6	6		ナヒストグラム 92 した部分集合の	
7	7		タフレーム 0	
8	1	97	66	
9	0	101	65	

Download data A as CSV

Download data B as CSV

図: 出力されたデータフレーム

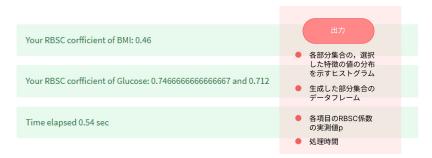


図: 出力されたRBSC係数pと処理時間